

下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ策定事業 モデル地域の募集要領

1. 趣旨

(1) 本事業の目的

地球温暖化対策は喫緊の課題であり、特に、近年、排出量が増加している民生部門の温室効果ガス削減をおこなうことが急務となっている。一方で、熱需要の多い都市内においては、下水熱や工場排熱等の未利用熱が豊富に存在することから、これらを冷暖房や給湯等に活用することで、民生部門のCO2削減に大きく貢献できる可能性を有している。

しかしながら、現在、下水熱等の未利用熱ポテンシャルに関する情報は整備されておらず、下水熱等未利用熱の利用を検討するに当たっては、民間事業者が個別の事業ごとに一つ一つ調査しなければならない状況である。

このため、下水熱等の未利用熱ポテンシャルに関する情報基盤の整備の一貫として、「下水熱利用推進協議会」の下に設置する「下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ分科会」においてポテンシャルマップ策定手法を検討するとともに、試行的に、モデル地域におけるポテンシャルマップを策定するもの。

(2) 事業の概要

本事業においては、まず、ポテンシャルマップ策定のモデル地域を公募する。次に、応募のあった地域から、「3. 選定に当たっての視点」に基づき、「下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ分科会」において有識者により審査し、選定する。選定されたモデル地域については、分科会におけるポテンシャルマップ策定手法を踏まえつつ、各地域の状況やニーズに応じ、関係主体間の連携の下、ポテンシャルマップ策定の支援を受けることができる。なお、最終的な成果品（ポテンシャルマップ）については、国のホームページで公表するとともに、可能な限り、各モデル地域の地方公共団体においても公表していただく。本事業のスケジュールは以下のとおり。

(スケジュール)		
平成25年 7月 2日	公募開始	
平成25年 8月 2日	公募締切	
平成25年 8月上旬～ 3月上旬	分科会の検討内容	モデル地域での活動
	○モデル地域の選定	○ポテンシャルに係る情報収集・整理、ニーズ把握
	○ポテンシャルマップ策定手法検討	○ポテンシャル算出・マップ策定
	○マップ策定手引き検討	○ポテンシャルマップ公表

2. 提案主体

- ・地方公共団体（複数可。また、地方公共団体と連携して民間事業者が参画するのは妨げない。）

3. 選定に当たっての視点

提案の選定に当たっては、以下の視点を踏まえ、モデル地域を総合的に評価する。

①先導性

応募された地域が、ポテンシャルマップ策定に当たって、他都市のモデルとなるような地域であるか。

②実行可能性

地方公共団体の取組意欲が十分か。また、地方公共団体の他部局や民間事業者との連携体制が構築できるか。

③波及性

ポテンシャルマップにより熱利用が促進される可能性が見込めるか。

4. 応募書類の記載内容

モデル地域の応募に当たっては、上記を踏まえ、以下の事項を「様式1」に記載する。また、モデル地域に係る参考資料を添付しても差し支えない。

(1) モデル地域の概要

ーモデル地域の範囲（地図を添付）、モデル地域の社会的・地理的特性、これまでの未利用熱利用に係る取組、下水道普及率 等

(2) モデル地域の具体的情報

①ポテンシャルに係るデータの把握状況

ー下水道台帳の有無、下水道施設に関するデータ、下水の流量及び水温データの把握・保有状況 等

②実施体制

ーポテンシャルマップ策定に係る取組意欲、他部局や民間事業者との連携体制 等

③今後の見込み

ーモデル地域における都市開発の有無、ポテンシャルマップの活用による未利用熱利用プロジェクトの予定 等

5. 募集期間

(1) 募集期間

平成25年7月2日（火）～8月2日（金）

(2) 募集締切

平成25年8月2日（金）17:00必着

※締切後の提出は一切認めない。但し、郵便事情等で紙媒体の提出が遅れる場合にあつては、電子メールの到着を提出とみなす。

6. 提案書類の提出方法

(1) 提出方法

応募書類（様式1及び参考資料）については、郵送により提出すること。

具体的には、以下に掲げるア)及びイ)の資料（紙媒体及び電子媒体）を送付することとし、封筒に「ポテンシャルマップモデル地域応募書類在中」と朱書きで記載すること。

【提出資料】

ア) 応募書類5部（正本1部、副本（写し）4部）

※ 正本1部は、様式1、参考資料の順で、ホチキス留めせずに、ダブルクリップで綴じること。

※ 副本4部は、両面印刷で申請書の左側2箇所をホチキス留めすること。

イ) 応募書類の電子データを保存した電子媒体（CD-R）2セット

※ 電子媒体のデータは、応募書類（様式1及び参考資料）ごとに.doc、.docx、.ppt、.pptx、.xls、.xlsx、又は.pdfの拡張子の形式で保存するとともに、様式1については、PDF形式に変換したファイルを保存すること。

(2) 提出先及び問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

「ポテンシャルマップ策定事業」公募係

住 所：東京都千代田区霞が関2-1-3

担当者名：深澤、西迫

E-mail：fukazawa-t2rr@mlit.go.jp

TEL：03-5253-8427（企画課直通）

(3) 提出資料の取扱い

選定されたモデル地域の応募書類については、原則公開とする。

7. 審査の方法及び手順

前述のとおり、下水熱利用プロジェクト構想の審査は「ポテンシャルマップ策定分科会」を設置した上で、当該分科会の有識者により審査を実施し、提案の選定をおこなう。審査結果は非公開とし、審査終了後、個別に採否を電子メールにて連絡する。

下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ策定事業
モデル地域の応募書類

平成〇〇年〇〇月〇〇日

実施地域	
提案者	※複数の主体が連携した提案についてはすべての主体を明記するとともに、代表となる提案者に◎を付す
担当者 連絡先	担当者の所属： 氏名： 電話番号： ファックス番号： メールアドレス： ※複数の主体が連携した提案については取りまとめ担当者を記す

<留意事項>

- ・必要な内容を簡潔に記載すること。
- ・適宜、図表等を用い、分かりやすい内容とすること。
- ・必要に応じ、参考資料を添付すること。

1. モデル地域の概要

※モデル地域の範囲 (地図を添付)、モデル地域の社会的・地理的特性、これまでの未利用熱利用に係る取組、下水道普及率等を記載

2. モデル地域の具体的情報

(1) ポテンシャルに係るデータの把握状況

※下水道台帳の有無、下水道施設に関するデータ、下水の流量及び水温データの把握・保有状況等を以下の項目ごとに記載

項目	把握・保有状況
●下水道台帳の有無	
●下水道台帳電子データ又はそれに準ずる下水道地図電子データの有無	
●地図データ(管路やマンホールの位置情報等)	
●属性データ(管路の用途・形状・サイズ・勾配、マンホールの形状・接続先配管、流下の方向等)	
●下水温度(下水温度把握場所及び把握データの間隔(月別、日別、時刻別等))	
●下水流量(下水流量把握場所及び把握データの間隔(月別、日別、時刻別等))	
●建物情報(建物用途、土地利用現況データ、建物現況データ等)	
●地形図情報	

※各種地図データについては shp ファイル形式、またはこれに変換可能な形式として提供可能であるかについても記載。

(2) 実施体制

※ポテンシャルマップ策定に係る取組意欲、他部局や民間事業者との連携体制等を記載

(3) 今後の見込み

※モデル地域における都市開発の有無、ポテンシャルマップの活用による未利用熱利用プロジェクトの予定等を記載